

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム たんぼぼ札幌新道東

作成日： 令和3年 3月 31日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	18	【本人と共に過ごし支え合う関係】 利用者様が介護する、介護される関係性ではなく、職員が暮らしをともにし、安心できる関係作りに努めています。	利用者様と職員が、共に暮らす中で安心して生活ができる。	信頼関係を構築した中であつたも、コミュニケーションを大切にし表情や会話、動作の中から小さな変化に気づけるように、アセスメント視点を広げる研修を重ね、安心して過ごすことができるように行う。	1年
2	23	【思いや意向の把握】 日々、利用者様と関わる中で本人の思いや考えなどを理解し、アセスメントシートを活用して職員同士の情報共有を行い、利用者様本位のケアが提供できるように支援の展開をしております。	日々の関りの中での気づきを大切にして、適時適切なケアが迅速に行える。	体調や、病状によって迅速に対応ができるよう利用者様へ変化に気づき、職員全員で情報の共有を行う中で、新たなケアへの糸口を考え実践に繋げていく。主治医や訪問看護師、管理者、計画作成担当者をはじめ、適切なケアが展開できるように研修を行う。	1年
3	36	【一人ひとりの尊重とプライバシーの確保】 一人ひとりの人格を尊重し、人生先輩であることを忘れず言葉かけを行っています。共に暮らす者同士親し気な言葉かけになることもありますが、施設内外の研修等への参加を行うなどこれからのケアにも取り組み活かしていきたいです。	信頼関係を構築し、敬意をはらい一人ひとりを尊重し気持ちを考えた言葉かけを行える。	介護理念を振り返りながら、自分の行動と照らし合わせていく。接遇マナーや言葉かけについての勉強会の開催を行う。	1年
4	38	【日々のその人らしい暮らし】 職員本位の行動をしてしまいがちですが、利用者様本位で行うと共に、一人一人のペースに合わせ、生きがいを持った生活で送れるように心かけ支援をしております。	一人ひとりのペースに合わせ、楽しみのある生活が送れるように支援を行える。	同一ケアが行えるように、常に職員間での情報共有、日々利用者様の情報をアセスメントシートを活用していく。	1年
5	3	【事業所の力を活かした地域貢献】 今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり目標としていた取り組みが行えませんでした。今後、地域の方々に認知症への理解を深めて頂けるように事業所としての役割を果たせるように立案、実現に向けた取り組みを行って行きたいです。	地域に向けた認知症への理解を深めて頂ける集いや勉強会の開催や、情報の提供を行える。	利用者様が地域で暮らす意味を理解して頂き認知症の理解が深まるように集いの開催や、勉強会の開催を行っていく。認知症サポートキャラバンの参加を促しを行うなど、地域一体で共に暮らせるようになる。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。